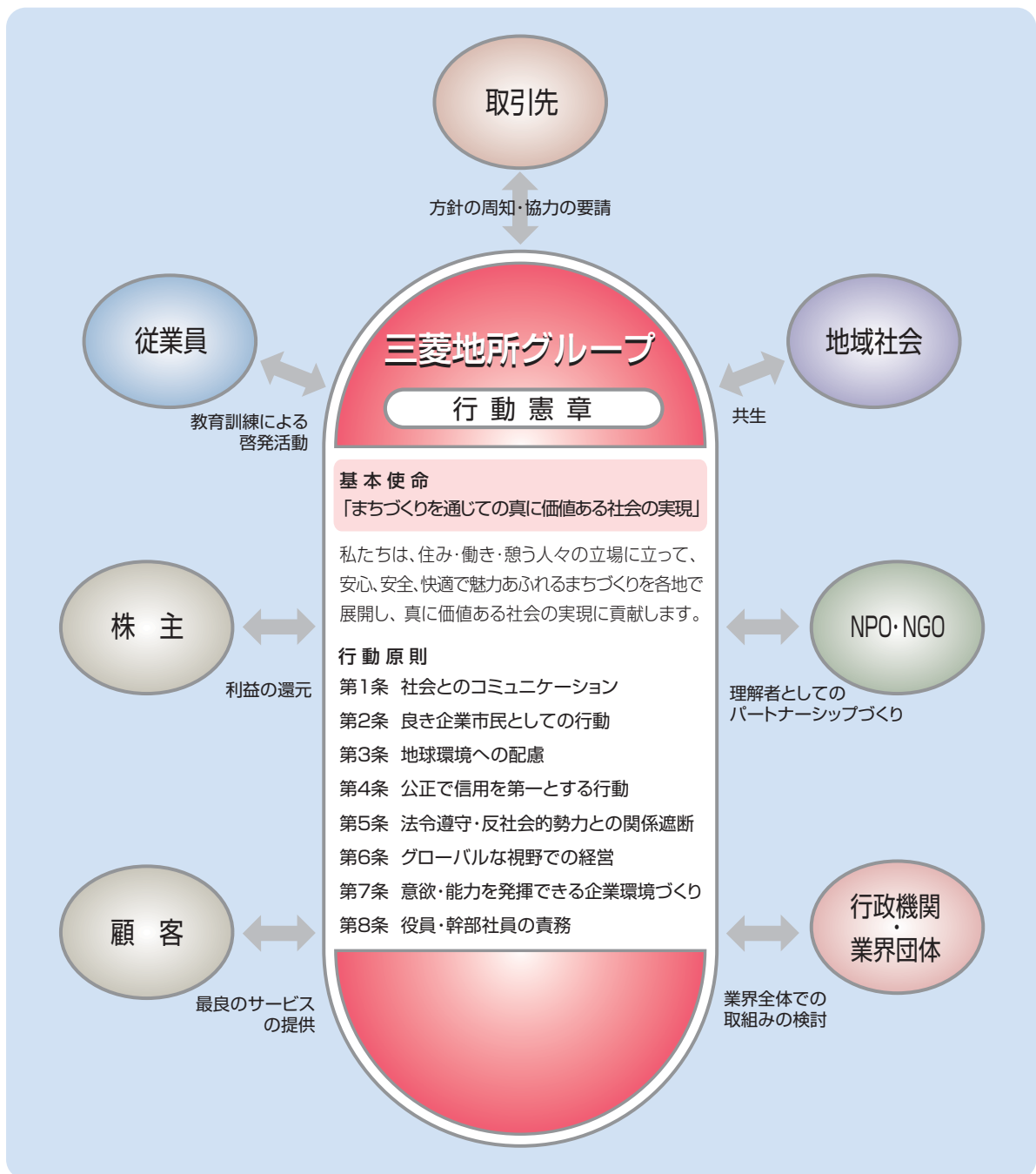




社会活動に対する基本姿勢

三菱地所グループの基本使命は、「まちづくりを通じての真に価値ある社会の実現に貢献する」ことです。そのためには、ステークホルダー^[*1]の意識や期待と実際の企業活動とを整合させ、良好な関係を構築・維持することが大切であると考えています。



[*1] ステークホルダー

顧客、株主、従業員、取引先、投資家、地域社会など企業を取り巻く利害関係者の総称。

社会とのコミュニケーション

三菱地所グループは、地域社会とのコミュニケーションとして、積極的に地域行事に参加し適切に情報を提供するなどして、企業活動に関する理解を得られるように努めています。また企業情報を積極的かつ公正に開示します。

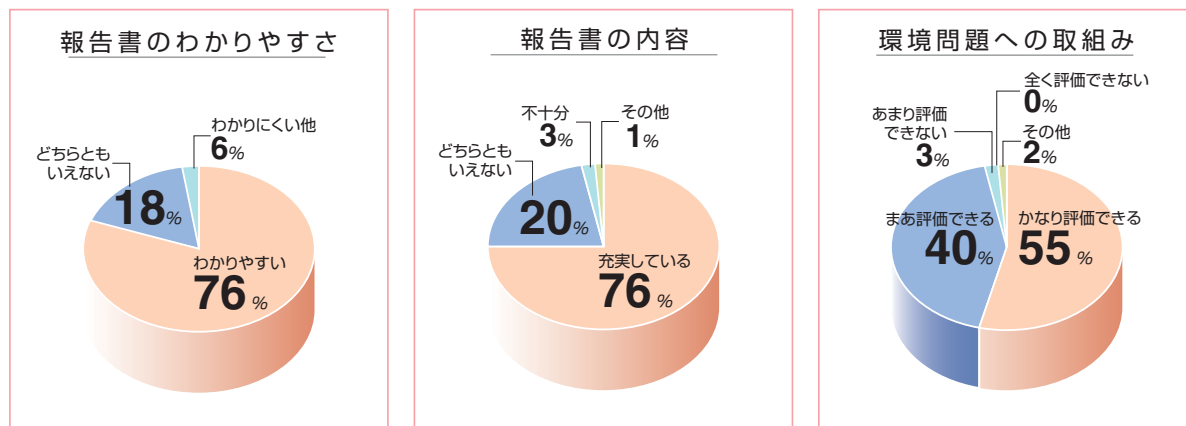
顧客・株主への情報開示

三菱地所グループでは、財務情報はもとより環境への取組み、社会貢献活動の情報も積極的に開示しています。ホームページには、「環境への取組み」(<http://csr.mec.co.jp/eco.html>)、「社会貢献活動」(<http://csr.mec.co.jp/kouken.html>)のページを設け、タイムリーに情報発信しています。また、株主の皆さまに配布する事業報告書にも「環境保全への取組みと社会貢献」を掲載しています。



「環境報告書2003」アンケート結果

三菱地所グループ「環境報告書2003」アンケート調査に対し、66件のご回答を頂きました。



● 関心のあった記事について (上位4項目)

1. 特集「丸の内再構築事業における環境への取組み」 62%
2. 三菱地所グループにおける環境負荷低減に向けた取組み 56%
3. 環境経営 (環境経営体制、環境目標と実績、環境会計等) 46%
3. 社会環境コミュニケーション 46%

● 報告書への記載希望事項、ご意見、ご感想

1. 現場の顔が見える記事、現場の声の記載 4件
2. 文字が多い、文字が小さい 4件
3. グリーン購入の記載 3件
4. 丸の内以外での取組み、横浜地区での取組み 2件

● 「アンケート結果」

アンケート結果を踏まえ、本報告書では以下のように対応しました。

- 文字を大きくし、各ページの余白もより多くしました。
- 「丸の内再構築事業における環境への取組み」については、本報告書においても特集として掲載しました。(5~8ページ)
- 横浜地区での取組みを掲載しました。(9ページ)

社会貢献活動

三菱地所グループは、良き企業市民として、地域社会と共生し、互いの利益を調和させて発展をめざし、地域社会との交流やボランティア活動への参加・支援、芸術・文化支援、NPOやNGOとの協働、海外への経済的支援など、社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。

地域社会との交流

「夏休み親子散策会～Discovery in Marunouchi」

2003年8月、「夏休み親子散策会」〈主催:大丸有エリアマネジメント協会、協力:三菱地所株〉が開催されました。これは子どもの夏休み期間中に、丸の内ワー



▲夏休み親子散策会

カーが家族と一緒に丸ビルなど丸の内のさまざまなスポットを散策するもので、93名が参加しました。

泉パークタウン街開き30周年記念事業

三菱地所株が宮城県仙台市で開発中の「泉パークタウン」が、1974年の宅地分譲開始以来30年目を迎え、2004年4月に記念事業の一環として「タウン!タウン!カーニバル」を開催しました。同イベントは住



▲タウン!タウン!カーニバル

民参加型のファミリーイベントで、2日間で約1万人の来場がありました。

夏休み親子環境学習

親子で自然に親しんでもらうことを目的に、1997年より三菱地所株と(財)日本野鳥の会の共催にて、「夏休み親子環境学習」を毎年実施しています。2003年度は、千葉県谷津干潟自然観察センターにて、14



▲夏休み親子環境学習

組32名の親子が参加し、野鳥をはじめとしたさまざまな生き物を観察しました。

丸の内さえすり館



東京都千代田区丸の内3-4-1
新国際ビル1階
TEL/FAX : 03-5220-3389
E-mail:saezurikan@nifty.com

月～金 11:00～17:00
土 13:00～17:00
(休館日/日・祝祭日)

丸の内さえすり館は、1999年より三菱地所株と(財)日本野鳥の会とが協働して東京丸の内のオフィスビル内に開設、運営しています。同館のスペースは三菱地所株が無償で提供しており、2004年3月までの来館者累計は16,220人となりました。都心の立地を生かして幅広い層の人々が訪れることのできる憩いの場として、環境保全意識の向上や丸の内地区の魅力づくりに資することを目的に、野鳥に関する写真や絵画、模型など多様な作品を月替わりで展示しています。

出張!野鳥のお話隊

「丸の内さえすり館」に足を運ぶことのできない方のために、都内の福祉施設や児童館を対象に、同館のボランティアが出向き、野鳥のスライド上映会や朗読会などを行っています。



ボランティア活動・メセナ活動

ボランティア支援制度

三菱地所(株)では、1995年にボランティア支援組織「社会人倶楽部」を設置し、2001年より下記のような支援制度を運用しています。

「社会人倶楽部」の支援制度概要

ボランティア休暇	積立休暇をボランティア休暇として取得可(年間5日まで)
ソーシャル・ラーニング	就業時間内のボランティア活動可
ボランティア保険付保	ボランティア活動中の事故を補償する保険を会社が付保(家族も対象)する
活動費補助	ボランティア活動の参加費・交通費の一部を会社が補助する
マッチング・ギフト	社員が1年以上継続して活動する団体へ金銭や物品を提供する場合、会社が同額を上乗せする
社員提案型支援プログラム	ボランティアに関する社員の提案(募金、研修、サークル設立、活動コーディネート)を会社が支援する

「野鳥と自然のお便り」の発行

三菱地所(株)では、目の不自由な方のために「野鳥と自然のお便り」を制作・発送しています。野鳥や自然の情報などをカセットテープにまとめたもので、社員ボランティアがナレーションや発送作業に携わり、年間4回計約6,000本を発行しています。

「新西六郷少年少女合唱団コンサート」開催

三菱地所(株)は、1996年より毎年、お年寄りや障害者を招待する福祉コンサートを開催しています。出演は音



▲新西六郷少年少女合唱団

楽教育を通じて健全な青少年の育成を実践するジュニア合唱団「新西六郷少年少女合唱団」とゲストミュージシャンで、2003年度は東京、横浜、仙台にて計4回のコンサートを開催しました。

「キラキラッとアートコンクール」開催

三菱地所(株)は、社会福祉法人東京コロニー・アートビリティの協力を得て、2002年度より障害児のための児童画コンクールを開催しています。応募作品はすべてインターネットで公開(<http://www.kodomonoe.com/>)

し、第2回の開催となる2003年度は、応募420点のうち優秀作品60点の原画展を、東京、横浜、名古屋にて開催しました。



▲キラキラッとアートコンクール会場(横浜)にて

交響楽団への支援

三菱地所(株)は、1991年よりスペシャルサプライヤーとして「NHK交響楽団」を支援しています。また、「日本フィルハーモニー交響楽団」の支援も行い、音楽文化の発展を願っています。



▲NHK交響楽団

© S.Takehara

丸の内若手音楽家が街頭ライブ

2003年11月、丸ビルにおいて女性4人のユニット「モーディア」のライブが開催されました。これは、三菱地所(株)がNPO法人「街角に音楽を」と連携し、若手音楽家に丸の内エリアでの活動の場を提供したもので、今後は定期的に街頭ライブを開催し、「丸の内出身アーティスト」の育成を進めていきます。



▲丸の内街頭ライブ

NPO・NGOとの 協働・海外支援

「オフィス家具リユースネットワーク」

三菱地所(株)では、管理するビルでの事務所移転などにより発生する不要なオフィス家具の有効活用を図り、民間非営利団体や社会福祉施設などに提供する取組み「オフィス家具リユースネットワーク」を1998年度より行っています。2003年度は11団体に対し499点のオフィス家具を提供しました。



▲オフィス家具の提供

「丸の内NPOプラザ協議会」結成

三菱地所(株)は、2003年11月に、NPO法人日本NPOセンター、(社)日本フィランソロピー協会と協働で、「丸の内NPOプラザ協議会」を結成しました。同協議会は、全国のNPOをより効果的に支援していくと共に、丸の内が市民活動の情報発信拠点として一般市民の社会活動への参加を促進することを目的としています。

「フォスター・プラン展」開催

三菱地所(株)は(財)日本フォスター・プラン協会^{〔*1〕}の協力により、2003年7月からアジアとアフリカの2カ国で、海外支援のプロジェクトを展開しています。プロジェクトの一環として同協会を紹介するパネル展を2003年12月16日から3日間開催しました。パネル展ではブルキナファンの子どもたちの生活をビデオで紹介した他、子どもたちの書いた絵や手紙、「現実の村」と「夢の村」を描いた「夢のこいのぼり」を展示し、来場者にフォスター・ペアレント^{〔*2〕}の参加を呼びかけました。

〔*1〕
日本フォスター・
プラン協会

開発途上国の子ども
たちを取り巻く生活環
境の向上をめざし、地
域開発を支援する国
際援助団体(NGO)。

〔*2〕
フォスター・
ペアレント

途上国の子どもたち
と交流しながら月々の援
助金で地域開発プロ
ジェクトを支えてもらう
制度。

〔*3〕
中国緑化協力
写真展

NPO法人緑の地球ネ
ットワーク、社団法人
国土緑化推進機構が
主催。



▲ブルキナファンの子供たちが描いた「夢のこいのぼり」

「海外支援プロジェクト」実施

三菱地所(株)は、社内ボランティア組織「社会人倶楽部」による寄付に、同額寄付を加えた「マッチングギフト」(45ページ参照)により、(財)日本フォスター・プラン協会を通じて2003年7月から海外支援プロジェクトを実施しています。フィリピンのサマール島では、「障害児の医療支援プロジェクト」として155人の子どもたちに診療、リハビリや各種講習会を行い、アフリカのブルキナファソでは「命を守る水支援プロジェクト」として、井戸3基の掘削とトイレ180基の建設を行います。



▲「海外支援プロジェクト」の対象国



▲アフリカでの「命を守る水支援プロジェクト」

「中国緑化協力写真展」(協賛)

三菱地所(株)は、NPO支援の一環として、2003年10月26日から1週間、東京駅丸の内北口ドームで開催された「中国緑化協力写真展」^{〔*3〕}に協賛しました。この写真展は、中国の内陸部を中心に深刻化する砂漠化や水問題について、その実情をお知らせし、環境問題に対する国際的な協力の必要性を訴えるものです。会場では中国山西省大同市で植林を行う日本のNPOとそれを支える人々の苦労と喜びを伝える写真パネル約80点が展示されました。



▲中国緑化協力写真展会場

職場環境

企業活力や創造性を維持するためには、役員・社員が意欲をもってその能力を発揮できるような企業環境づくりが大切です。このため三菱地所グループは「活力や創造性のある職場環境づくり」をめざしてさまざまな職場環境改善への取組みを行っています。

人権啓発・職場環境改善への取組み

人権啓発の推進

三菱地所グループでは社員の一人ひとりが国際的な人権状況を深く学び、市民生活においても積極的な役割を果たしうる状況を創出することが、企業の社会的責任を果たしていく上で大切だと考えています。このような認識の下に、三菱地所(株)では「人権啓発委員会」を設置し、同和問題、女性、障害者など広く人権問題についての研修を全社的に反復継続して実施し、



▲人権研修にて

差別を「しない、させない、許さない」という具体的な行動に結びつく研修を心がけています。

セクシュアル・ハラスメントの防止

三菱地所グループでは、グループ各社にセクシュアル・ハラスメント相談窓口を設置し、グループ全体でセクハラ防止に向けた取組みを推進しています。

また三菱地所(株)では、セクシュアル・ハラスメントの不当性の意識啓発用に、リーフレットを作成・配布すると共に人権研修を役員・社員に対して実施しています。更に社内外に苦情・相談窓口を設置し、厳正に対応することになっています。

社員の心身にわたる健康保持・増進への取組み

健康管理体制

三菱地所(株)では毎年1回実施する全社員対象の定期健康診断において、成人病予防の検査項目の充実、二次検診、各種要注意者検診などを行っています。また「衛生委員会」を毎月開催し、社員の健康保持・推進に取り組んでいます。

更に、三菱地所健康保険組合では、疾病予防のための人間ドック・健康診断費用、医薬品費用、体力増進を目的とした体育奨励費の補助などを行っています。

出産・育児・介護に関する諸制度

三菱地所(株)の育児休業制度では、法令に基づき子どもが3歳に達するまでの期間は育児休業が短時間勤務を、小学校に就学するまでの期間は深夜業の制限を申請することができます。介護休業制度では、1年間の介護休業、3カ月間の短時間勤務、介護サービス費用助成、または深夜業の制限を申請することができます。

心の健康

心の健康維持・増進のために、1991年4月より臨床心理士の資格を有するカウンセラーを配したメンタルディベロップメントルーム(MDルーム)を設置し、グループ会社の社員が気軽に相談できる体制を整えています。

喫煙ルールの徹底

三菱地所(株)では社内ガイドラインを定め、そのガイドラインに基づき部署ごとに喫煙ルールを定めています。このルールは部署ごとに設置された喫煙対策責任者が徹底を図っています。

雇用の状況

人事制度改革の推進

三菱地所(株)では2000年度より「社員の主体性・自律性の尊重」「挑戦的かつ創造的な組織風土の醸成」を基本理念とした人事制度改革を推進しています。それに伴い、目標管理制度を導入し、それに処遇を連動させた成果主義とし、併せて選択定年制度や選択型研修を行っています。

採用活動

三菱地所(株)では「オープン&フェア」という方針の下に、大学・学部・学科不問の完全オープンエントリー制度を採っています。必要な情報はすべて提示し、できるだけ学生の皆さんとコミュニケーションを図っています。

健全な労使関係

基幹職などを除く全従業員(約1,000名)の組合員からなる三菱地所労働組合と労働協約を締結し、高い信頼関係の上で会社の向かうべき方向性について真摯に話し合い、健全な労使関係を構築しています。

社外からの評価

三菱地所グループの取組みが各界から評価を受けました。

「DJSI」に 4年連続で選定

2003年9月、三菱地所(株)は、Dow Jones Sustainability Indexes (DJSI)に4年連続して選定されました。米国Dow Jones社は、世界26カ国2,500社の優良企業から持続的成長が見込まれる企業を選定し、インデックスとして公表しています。



「FTSE4Good Global Index」に 3年連続して選定

2004年3月、三菱地所(株)は英国FTSE社から「FTSE4Good Global Index」の構成銘柄として3年連続して選定されました。



「FTSE4Good」は、企業責任基準を満たす企業を選定することを目的とし、CSRの世界的な投資格付指数として高い評価を集めています。

「ディスクロージャー優良企業」で 2年連続1位

2003年10月、三菱地所(株)は、日本証券アナリスト協会による「ディスクロージャー優良企業選定」において、2年連続で建設・住宅・不動産部門の1位に選定されました。本制度は、アナリストが企業の自発的、積極的な開示活動などを評価し毎年優良企業を選定するものです。

第7回環境レポート大賞 「環境報告優秀賞」受賞

2003年9月発行の三菱地所グループ「環境報告書2003」が、(財)地球・人間環境フォーラム、(社)全国環境保全推進連合会主催の第7回環境レポート大賞「環境報告優秀賞」を受賞しました。グループ各社の異なる事業を、総合不動産業として、「まちづくり」=「コミュニティの創造」の視点からとらえたことなどが評価されました。



社会活動に関する第三者コメント

三菱地所グループの社会活動に関して有識者の方々からコメントをいただきました。

三菱地所と日本野鳥の会の協働運営による「丸の内さえずり館」は、自然観察や写真撮影、野鳥の声のお便りなどさまざまな活動グループが派生しています。OBの方々も参加され地域社会へ参加することにつながる可能性もあり、大変評価できます。海外支援プロジェクトは開発だけでなく地域にねざした人材を育てるという点で、NPOなどと連携した発展が期待されます。社会貢献の目的をより明確にしたボランティア休暇などを通じて多くの社員が参加するよう、地域活動体験を奨励することが今後の課題でしょう。



東京大学大学院教育学研究科教授

佐藤 一子 (さとう・かつこ)

専門分野 社会教育
地域文化研究

三菱地所の社会貢献は環境・文化・福祉と多岐にわたり、NPOと協働した地道な努力をされている点で高く評価できます。社会貢献を社員教育の一環として取り組むことで、一層充実したものになるでしょう。そのためには、会社にふさわしいビジョン(特定の目的)を持って社会貢献を行い、その結果を会社として吸収していくことです。また、NPOとの協働も都度見直しつつ、長期的に支援していくことだと思います。社会貢献活動は、企業にとって積極的な意味となる位置付けも必要です。例えば、会社がNPOを支援する形として、社員を派遣し研修の場として活用するののも一方法と考えられます。



東京農工大学農学部助教授

朝岡 幸彦

専門分野 社会教育
環境教育